



明治33（1900）年、海軍は、倉橋島に大砲の発射試験場「亀ヶ首発射場」を整備しました。亀ヶ首発射場は、大口徑砲を中心とする兵器の国内製造の実現に重要な役割を果たしており、大和型戦艦に搭載された46センチ砲の試験も同所で行われています。

令和2年6月、「亀ヶ首発射場跡」が日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の構成文化財として追加認定されたことを受けて、記念シンポジウムを実施します。

亀ヶ首発射場と倉橋島の歴史を振り返るとともに、今後の活用について検討します。

■日時 令和3年1月23日（土）13時30分～15時30分（開場：13時）

■会場 桂浜温泉館・なぎさホール（広島県呉市倉橋町431）

乗用車：呉駅から国道487号→県道35号→桂浜温泉館。駐車場：約150台（無料）。

バス：JR呉駅前バスターミナル3番乗り場、ひろでんバス「桂浜・温泉館」行き
終点「桂浜・温泉館」で下車、徒歩すぐ。

■定員 150名（参加費無料。事前申込み不要）

第1部 研究報告

- ・「古代・中世の倉橋島と亀ヶ首」
広島大学名誉教授 下向井 龍彦 氏
- ・「地元倉橋から見た亀ヶ首発射場」
広島会計学院専門学校校長 菅 信博 氏
- ・「亀ヶ首が果たした二つの役割
－46センチ砲とエリート工員の誕生」
広島国際大学客員教授 千田 武志 氏

第2部 パネルディスカッション

「亀ヶ首発射場と倉橋島－歴史と活用－」

- ・司会
呉市海事歴史科学館館長 戸高 一成 氏
- ・パネリスト
広島大学名誉教授 下向井 龍彦 氏
広島会計学院専門学校校長 菅 信博 氏
広島国際大学客員教授 千田 武志 氏
くらはし観光ボランティアガイドの会会長 柳井 敏弘 氏

【お問合せ先】 呉市文化スポーツ部文化振興課

〒737-8501 広島県呉市中央4丁目1番6号

電話：0823-25-3463, FAX：0823-24-9807, E-mail：bunsin@city.kure.lg.jp